Kamui no Mori Kouen

公園・キャンプ場利用者へお願い

- ●キャンプ場利用者は、「森のふしぎ館」で受付を済ませてから、ご入場下さい。
- ●園内では、「ペットの放し飼い」「たき火・打ち上げ花火」などはご遠慮下さい。

森のふしぎ館 わくわくエッグ ご利用案内

- ●開館時間
  午前９時～午後５時
  ※7/1～8/31は午前９時～午後７時
- ●休 館 日
  毎週月曜日
  （祝日の場合はその翌日）
  年末年始
- ●料　　金：無　　料

■案内図 ●アクセス：市内中心部から約6㎞



■お問い合わせ

森のふしぎ館（体験学習館）

旭川市神居町富沢125番地 ☎0166-63-4045

●監修：旭川市土木部公園みどり課●企画・発行：公益財団法人旭川市公園緑地協会

★このパンフレットは、公益財団法人旭川市公園緑地協会の「公益目的事業」として発行しました。

（初版　平成20年9月）
（改定　令和8年10月）

https://www.asahikawa-park.or.jp

カムイの杜公園 公式 SNS

X

Instagram

YouTube

最新情報はこちら フォロー歓迎！



Kamui no Mori Kouen

カムイの杜公園（もりこうえん）



公園案内図（あんないず）



楽しみがいっぱい！カムイの杜公園









カムイの杜公園の楽しみ方

森のふしぎ館

「森のふしぎ館」では、自然観察会や木工教室などの体験学習教室やおもしろ工作・実験タイムなどの、楽しい体験ができるよ。

自然とのふれあい体験や自然の素晴らしさを紹介しているので、遊びに来てね！







わくわくエッグ

「わくわくエッグ」は、屋内の施設なので、天候に関係なくいつでも遊べるよ。滑り台や迷路、ネット遊具で体を使って親子でおもいっきり遊んでね！







わんぱく広場

「わんぱく広場」には、フクロウをイメージした大型アスレチック遊具やターザンロープ、滑り台などがあるよ！

冬はチュービングコースで遊べるよ！







自然観察

カムイの杜には豊かな自然がいっぱいあるよ。

自然を満喫できるネイチャーゲームで杜探検にチャレンジ！







カムイの杜公園キャンプ場

■**開設期間**：5月1日～10月31日
●**利用時間**：宿泊▶11:00～翌日11:00、デイキャンプ9:00～17:00
●**受付時間**：宿泊▶11:00～17:00（7・8月は19：00まで）、デイキャンプ▶9：00～17：00
●**受付場所**：森のふしぎ館（体験学習館）　※受付後、入場・リヤカー使用可
●**場所の指定**：宿泊とデイキャンプのエリアが分かれています。指定の場所でご利用ください。
●**火気の取扱い**：芝生の枯損、野火等の事故防止から、火気を使用する場合は、コンロと芝生と一定の間隔をとり、芝に直接熱が伝わらないようにしてください。※焚火や打ち上げ花火（手持ち花火は可）はご遠慮ください。

●**使用料**

区分				料金
個人使用（入場料）	宿泊	大人	1人	450円
		高校生	1人	300円
	デイキャンプ（日帰り利用）	大人	1人	300円
		高校生	1人	190円
サイト使用	宿泊	テント・タープ	各1張	700円
	デイキャンプ（日帰り利用）	テント・タープ	各1張	420円









カムイの杜公園テニスコート

●**コートの概要**：全天候型砂入人工芝コート4面（硬式2面・軟式2面）
●**使用期間**：4月20日～10月20日
●**使用時間**：6:00～21:00
●**使用料**（1面）

区分		料金
個人使用（1時間）	大人	450円
	高校生以下	220円
夜間照明（1時間）		790円

●**受付**：テニスコートを使用される方は「森のふしぎ館」（体験学習館）で受付をしてください。早朝（午前6時～9時）・夜間（午後5時～9時）に使用する場合は予約（電話は不可）が必要です。





こどもと自然が主役の公園です

カムイの杜公園は、「平成記念子供のもり公園整備事業」として平成3年度に建設大臣より指定を受けた全国15公園のうちのひとつです。
この公園は、未来を担うこどもたちが緑豊かな環境の中で健やかに成長することを願いつくられたものです。
カムイの杜公園は、富沢の自然環境を活かしこどもたちがのびのびと自然に親しみ楽しむことができる公園としてつくられました。



カムイの杜はこうして誕生しました

カムイの杜公園は、地域の小学生による「カムイの杜公園こども会議」（平成4年）で出された意見を参考にしてつくられました。
「こども会議」では、屋内施設に対する要望が多く出されました。そして現在の屋内遊戯広場（わくわくエッグ）がつくられました。
「こども会議」の後に「わくわくエッグ」の愛称と遊具のイメージについて近隣の小学生からアイディアをだしてもらいました。
また、自然探索の森（みんなの森）では市民の人たちの参加により手づくりで森の環境がつくられました。

